

令和2年度 長期フォローアップ・移行期医療検討委員会活動報告

委員長：大賀 正一、副委員長：松本 公一

委員：家原 知子、石田 也寸志、大植 孝治、大園 秀一、上別府 圭子、清谷 知賀子、
竹之内 直子、長 祐子、檜山 英三、宮村 能子、湯坐 有希、

オブザーバー：前田 美穂（敬称略）

（1）委員会等の開催実績

開催日	開催場所	検討内容
令和2年6月3日	Web	2020年度コロナ禍でのLCAS研修開催について
令和2年7月15日	Web	第1回LCAS(広島)開催について アドバンス研修について
令和2年8月22日	Web	第1回LCAS(広島)開催について
令和2年9月24日	Web	第1回LCAS(広島)開催後の振り返り 第2回LCAS(京都)開催について
令和2年10月5日	Web	第2回LCAS(京都)開催について 移行期医療について
令和2年11月24日	Web	第2回LCAS(京都)開催後の振り返り 第3回LCAS(東京)開催について 次年度のLCASについて 移行期医療について
令和2年12月21日	Web	第3回LCAS(東京)開催について 次年度のLCAS研修開催について 移行期医療について
令和3年2月3日	Web	第3回LCAS(東京)開催の振り返り アドバンス研修、移行期医療について
令和3年3月3日	Web	次年度のLCAS研修開催について

		移行期医療について
--	--	-----------

(2) 研修会の開催実績

開催日	開催場所	対象者	人数
①令和2年9月15日	web	①②③	①36名
令和2年9月16日	web	小児がん・AYA世代がん医療に携わる医	②42名
②令和2年11月7日	web	師、看護師、チャイルドライフスペシャリ	③42名
③令和3年1月24日	web	スト、ホスピタルプレイスペシャリスト、	④42名
④令和3年3月13日	web	保育士、心理士、リハビリスタッフ、がん 相談支援センター相談員、その他 ④ 小児がん拠点病院に所属し「小児・AYA世 代のがんの長期フォローアップに関する研 修会」を受講修了している、小児がん・A YA世代がん医療に携わる医師、看護師、 チャイルドライフスペシャリスト、ホスピ タルプレイスペシャリスト、保育士、心理 士、リハビリスタッフ、がん相談支援セン ター相談員、その他	

(3) 移行期医療について

「小児期発症 血液・腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイド」のホームページ掲載を検討中。基本的姿勢として、移行と移行支援プログラムについて12項目を挙げている。小児血液・がん学会による移行支援の在り方については、項目1に、他の分科会にはない提言を入れている。特に小児がん領域では、幼少期から多系統にわたる合併症を来すため、小児科学会分科会の他の専門学会との連携を行い、共同してカウンターパートとなる成人領域の移行に向けた提言を行い、徐々にカウンターパート先を拡げていく計画である。学会内の社会・広報委員会とも連携して公開を行う。

事業実績報告書

1. 長期フォローアップを担当する多職種協働チームの育成

(1) 研修の方法等検討委員会

(2) 研修会

研修会の内容
<p><小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会></p> <p>小児がんサバイバーの晩期合併症、長期フォローアップの重要性を認識すること、並びに小児がんの成人医療への移行に対する支援、患者の自立への支援に加えて、AYA世代がんの晩期合併症と長期フォローアップの重要性を医療人が認識すること、AYA世代がんに対する支援、患者の自立、社会復帰、生殖機能温存などへの支援を医療者がどのように行うかを目的として研修を開催した。</p> <p>今年度より e-ラーニングシステムを本格導入したため、研修については講義と演習の2部制として開催した。講義については、システムを使用して8コンテンツを必須科目と、参加者各自で事前に受講いただいた。演習については、集合研修にてグループワークを行う予定であったが、COVID-19感染拡大のため、Web会議システムを使用してグループワークによる事例検討を3事例行った。</p> <p><小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 アドバンス></p> <p>長期フォローアップ上の困難例を共有し、問題点の抽出、必要な対応や対策を考えることを目的として、小児がん拠点病院に所属する医療従事者を対象にアドバンス研修を開催した。参加いただいた14施設より、各困難事例を提示いただき困難事例の共有を行うとともに、そこから3事例を本研修の課題事例として、グループワークによる事例検討を行った。</p>

(3) ホームページの運用

事業実績
小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業専用ホームページの更新 研修会の開催概要等、随時更新

2. 長期フォローアップを担当する多職種協働チームの支援

事業実績
小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業専用ホームページを充実させ、受講者が講義内容を確認できるようにし、e-ラーニングシステムを使用し研修会後も学習できるよう整備した。研修会における受講者やサバイバーなどからの質問や問い合わせを随時受け、本事業内の専門家からの回答やアドバイスなどの支援を行った。また、長期フォローアップ診療時の支援となるよう「小児がん経験者のためのトランジションステップ」を改訂し、小児がん拠点病院 15 病院に配布を行った。

以上

文責：松本 公一